

盛岡地区交流会報告

日時：2025年8月20日（水）13：30～15：30

場所：アイーナ6階団体活動室2

参加：藤原世話人、石川世話人、訪問看護ステーション「さくら」菅原代表
端坂（記）
他6名（初参加1名）

内容：

- （１）岩手県支部活動報告（端坂）
- （２）指定難病医療費受給者証で訪問看護、訪問リハビリを受けるための申請について

端坂：岩手県保健福祉部に上記、問合せをしたところ以下の回答をもらった。

【保健福祉部回答】

まず、指定難病受給者証が利用できる訪問看護、訪問リハビリは、指定医療機関として指定されている訪問看護ステーションが実施するものとなります
（県ホームページに掲載している一覧の通りです。）

次に、一般的な流れとは思いますが、指定難病受給者証の利用にあたっては
訪問看護ステーションとの契約時に、保険情報（保険証）の提示と併せて、指定難病受給者証を提示していただく必要があります。
指定難病受給者証に記載されている病名と医師が記載した訪問看護指示書の病名の確認を行い、訪問看護ステーションが行う訪問看護が、指定難病に関する訪問看護の場合は、指定難病受給者証が適用されることになります。

ケアマネージャー等が訪問看護ステーションとの連絡調整を行う場合は、ケアマネージャーにも訪問看護で、指定難病受給者証を使用する旨伝え、契約前に訪問看護ステーションに伝えていただくことで、スムーズに指定難病受給者証の利用につながるようになるかと思っています。

実際は、保健所難病担当、ケアマネージャ、地域包括支援センターが制度を理解していないためか、スムーズに指定難病受給者証を使って訪問看護、訪問リハビリを利用できている事例は少ない。

訪問看護ステーション「さくら」菅原代表

端坂支部長から指定難病受給者証を使って訪問看護、訪問リハビリを利用できている事例が少ないことを聞いて驚いている。「さくら」事例を説明していただいた。

参加者から

I さん

娘が若年性パーキンソン病で岩手医科大学病院に通院している。医療相談室に指定難病受給者証を使って訪問看護、訪問リハビリを利用したいと相談したところ、スムーズに利用できた。

F さん

端坂支部長から指定難病受給者証を使って訪問看護、訪問リハビリを利用できるとの情報をもらったので、ケアマネージャに相談したが、うまくいかなかったため、諦めていた。本日、「さくら」菅原代表の説明を受け再度申請したいと思う。

(3) 近況報告・困りごと

I さん

娘が「食べないと調子が悪くなるような気がする」と間食をするようになり、急激に体重が増加した。皆さんは間食をしていますか？また、食べ過ぎないようにするために工夫はしていますか？

F さん

私も間食をしている。袋を開けてしまうと食べきるまで止められない。家族に怒られるので食べ過ぎなくて済んでいる

その他の参加者も間食を制限できていないとの意見が多かった。

Y さん

神奈川に住む息子は近所の個人開業医で鬱の治療を受けている。鬱症状も良くなり、パーキンソン病の治療も上手くいっているようです。8月21日に産業医との面談で職場復帰できるか判断される。

I さん

うちの娘は場復帰プログラムで無理のない勤務時間で働いている。収入は減るが病状が悪化しては元も子もない。Yさんの息子さんも職場に相談してみてもどうか

参加者どうしで活発な意見交換がおこなわれた。

次回予定

日時：10月29日（水）13：30～15：30

場所：アイーナ6階団体活動室2